

女流聲樂家……

永井郁子女史來平

磐女校主催にて

平劇場に獨唱會を催す

東都に於ける一流の女流聲樂家として今や飛ぶ鳥も落とす程の名聲を博しつつある永井郁子女史は此の度び仙台放送局に招かれての歸途

海岸線

を通過すべ

き爲めは絶好の機會と磐城高等女學校校友會並びに同窓會は永井女史に懇望しその金鈴を振るが如き豊かな聲に接するの日を迎える事が果された、日時は来る廿三日の土曜日、場所は平劇場に於て、獨唱

曲目は

左記の如く

何れも同女史得意のものから選り抜きの曲を上げ

▽ベートウベン三曲(いとしきジョニー)堀内敬三譯詞(御身を愛す)同上(神のみむづ)近藤朔風譯詞

▽シューベルト三曲(子守唄)近藤朔風譯詞(驛)

▽堀内敬三譯詞(野バラ)同上

▽各國民謡五曲(東方のロマンス(ロシア)サンタルチア(ナポリ)植生の宿(イギリス)スワニー河(アメリカ)つむぎうた(ドイツ))

▽ソルゲイグの歌、グーテ作曲、堀内敬三譯詞

▽アヴェマリア、ピツハグノー曲、堀内敬三譯詞

加ふるに是れ又ピアノストとして名聲噴々たる永田清子女史がピアノ伴奏に當り真に恵れたる樂の

音に滿場を心酔せしむべく終つて後

餘興

して目下開演中なるチャンパルジャンの活動寫眞を上映する筈であつて是等の費用に當てんが爲め會費五十錢の父兄券を發行する

五大炭礦其他

勞務健保協

昨日四倉町にて

常磐炭礦に日立、四倉セメントを加へたる勞務及健康保險關係の打合せ協議會は過般來毎月各地持ち廻りで開會し來つたが六月例會は十八日午前十時から四倉町海氣館で内務省社會局保健課荒川事務官臨席開會諸般の協議打合せを午後四時閉會した出席次ぎの如し

五十鈴參觀

三百五十名

縣下本年度の海軍簡閱點呼は來月十五日小名濱沖合で執行され横須賀鎮守府は軍事思想普及の目的で軍艦五十鈴を派遣し縣下小學校教員その他に對し參觀を許すことになり縣を通じて希望者を取纏め中のところ縣か

らは教員百四十名、青年團幹部百六十四名、訓練所指導員四十五名、合計三百五十七名に達した

石城の繭市況

四倉市場から

十八日の四倉繭市場状況に依れば出廻約二千三百貫で白繭最高七圓六十五錢最低

坑夫長屋一軒残らず

祝祭日には國旗掲揚

各坑夫を督勵する

磐城炭礦では御大典記念として所屬坑夫の思想善導に資すべく今後祝祭日の國旗掲揚を實行せしむべく會社

購入方を

幹旋し過

般來希望者を募つてゐるが既に申込んだもの總數三千五百戸中千六百戸に達し近く二千戸を突破するであらうと見られてゐる、而して右は附屬品一切を揃へ八千餘で二十錢宛四會計(二月月)の分納とし時節柄最も機宜の試みとして迎へられてゐるが右に



木炭粉が解毒劑

注意してゐますと鶏や犬などが土の中から木炭のかけらを丸のみにするのを見受けるのでせう。あれは自然に

六圓十錢黃繭最高六圓四十五錢最低五圓廿五錢である

回公判開かれる等

本縣試験場所有船警城丸の昨日の觀測に依れば濃厚なる鯉群が愈よ本縣沖合卅五哩の海上迄浮遊し來つたと

昨日の觀測

愈よ接近す

昨日の觀測

關し濱崎勞務課長は「今後祝祭日には坑夫長屋一軒残らず國旗が掲揚されるようにしたいと心掛けてゐます」と語つてゐた

五人殺檢證

宮城控訴院から

石城郡内郷村の白水五人殺犯人鈴木治八郎の事件に關し本日午前八時井上控訴院

炭礦長屋にチフス發生

同時に二三名

石城郡湯本町字八仙入山炭礦長屋小泉敏(三)及び同長女ちえ(五)及び同所萩原富治(三)の三名は腸チフスと決定十七日隔離されたが炭礦長屋のことゝて蔓延の恐れあり平署で防疫を督勵中

めの本能的の手段です。一體木炭殊にその粉末にしたものには強い吸收力がありますから解毒劑になりまします。ほとんどすべての毒物を吸收して毒性を消してしまひます。ドイツで行はれるカルコリッド療法は如きはそれを科學的に應用したものです。

木村醫院に外科

平町新川町木村産科婦人科醫院木村寅次郎氏は今回京

が診療する筈であるが藤本氏は名古屋醫事卒業後同校

梅雨期に食傷り

梅雨期に入つたので微や微菌の繁殖するに温

度も濕氣も最も適當な季節なつたので、それ故食物なども少し注意が足りないといふ

から下劑藥を用ひて例へばヒマシ油を十五瓦か二十瓦吞ませてしまふこの際腸管

原因する

急性腸加答兒に罹るのが多い急性腸

か麥湯を少量飲んで必ず生水やサイダ等は用ひてはな

温湯を加

へたもの

文藝懇談會

本紙の文藝投稿者を中心として左記

一、場所 平銀行樓上に於て

一、日時 来る廿四日(日曜)午後六時より

一、會費 廿錢(茶菓費に當)